

## 多文化看護論

《担当者名》 唐津ふさ(デ) karatu23@hoku-iryo-u.ac.jp 塚本容子(デ) yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp

### 【概要】

グローバルな視点に基づき、日本国内外における多様性について文化・制度・生活背景から理解を深め、看護の課題を考える。また、演習を通して自己を内省することによって専門職としての自己の姿勢を言語化する。

### 【学修目標】

1. 文化・多文化とは何かを理解できる。
2. 国内における「多様性」を文化・制度・生活背景から考えることができる。
3. 文化的背景を踏まえた看護実践を考えることができる。
4. 自身の価値観・バイアスを内省し、専門職としての姿勢を言語化できる。
5. 人種・民族による遺伝的多様性(薬理遺伝学等)と、それが健康課題に与える影響を説明できる。
6. 異なる文化圏における「遺伝」「血縁」「病因」に対する捉え方の違いを理解し、アセスメントに活用できる。
7. 多文化状況下における遺伝医療特有の倫理的課題を分析し、看護師としての倫理的調整の役割を考察できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学習の進め方、内容、評価方法	唐津
2	遺伝看護 遺伝的多様性と人種・民族	・生物学的な「人種」と社会的な「民族(Ethnicity)」の概念整理。 ・薬理遺伝学(PGx)の基礎:薬剤代謝酵素(CYP等)の遺伝子多型と民族差、薬剤反応性の違い。	塚本
3	遺伝看護 健康の社会的決定要因(SDH)と遺伝	・健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health)と遺伝 ・「遺伝・継承」の文化的モデル	塚本
4	文化ケア理論の理解	M.レイニンガー看護論“文化ケアの多様性と普遍性”第3章の抄読とディスカッション	唐津
5	文化ケア理論の理解	M.レイニンガー看護論“文化ケアの多様性と普遍性”第3章を踏まえ、事例検討	唐津
6	日本社会の多様性	在留外国人と医療、宗教と看護、ジェンダー・セクシュアリティ、障がい・貧困などの多様性を理解し、看護の課題を検討する。	唐津
7	多文化の理解	国内に居住する外国人へのインタビューを通して、文化・生活背景を理解する。また、インタビュー後の内省を通して、自己の傾向を知る。	唐津
8	多文化の理解と看護	ロールプレイを通して、文化を理解し、看護を实践する上での課題を見いだす。	唐津

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

プレゼンテーション・ディスカッションの参加60%  
レポート40%

### 【教科書】

その都度プリントを配付する

### 【学修の準備】

予習:講義で提示された課題を行う。シラバスに沿って、講義テーマについて事前に調べておく(1時間)  
復習:講義で提示された課題に取り組む。また、講義で取り上げたテーマについて、さらに自分で深める(1時間)

( 2026年度・看護福祉学部 )

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

DP5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している